

## 陸上競技部 インターハイ激励会の葉より (平成19年7月)

### インターハイ10年連続出場を振り返って

北上翔南高校(黒沢尻南高校)陸上競技部 監督 本正 園子

高校生の最高の舞台であるインターハイ。このインターハイに10年連続して出場できたことは、奇跡に近いと今は思う。

東北で6位に入賞することなんて、簡単なこととっていた中学時代。高校2年生の時に0.01秒差で7位となり初めてインターハイに行くことの厳しさを感じた高校時代。

高校時代の夢は、全国の舞台で活躍することだった自分自身の夢は、100mも200mも準決勝敗退で終わる。

その時に、「私は、教え子を100mインターハイチャンピオンにする。」という夢を持ち大学に進み教員を目指した。

夢は、叶う。必ず、叶う。私は自分の高校時代の夢が平成13年に叶うことになる。教員生活10年目の夏。鈴木あかり選手が、100mで全国制覇!!夢が叶った瞬間は、あっけないものだった。最初に交わした会話も「おめでとう」ではなくて「ダウンやったか?」だったのである。

平成3年に一関第二高校に初任で着任し、インターハイを目指したけれど、東北大会に出場するのも夢のような現実に直面した。一生懸命やっても結果がなかなかでない。それでも強くなりたい、強くしたい、インターハイに行きたいという気持ちだけは持ち続けていた。夢を持ち続けて黒沢尻南高校に着任したのが平成7年。平成11年に北上市で開催される岩手インターハイで地元の選手を育成したいと言うことで強く赴任を希望したら、その夢が実現した。

岩手インターハイを目指した取り組みは、北上市陸上協会の協力と、若さと情熱で着実に成果を上げた。赴任4年目には、高校総体女子総合優勝!!そして、念願のインターハイに初出場が決まった。

98四国総体。県大会を3位で通過した400MRだったが東北大会を5位で通過。走り高跳びは、高橋香澄と藤村唯がダブルで出場を決める。金比羅神社の近くに泊まり、さぬきうどんばかり食べた思い出。

初出場は、400MRが岩手県高校新記録を出しても、予選5位。走り高跳びの2人は記録なし。全国制覇が本当に遠いことに思えた。

そんな時、いつもお世話になっている米沢女子(現・九里学園)の原田真理子選手が100MHで優勝。その瞬間に立ち会い鳥肌が立った。ゴールして先生方に飛び上がって手を振る選手を見たとき、感動で涙が溢れた。と、同時に自分の夢に対して自信を無くした。「私には、教員をあと30年やってもこんな瞬間は本当に来るのだろうか?」

インターハイ優勝の夢が本当に遠くに感じた。

翌年99年岩手総体。大会の運営・開会式のプラカードの役員。毎日、毎日多忙。そして、追いつめられていく。地元インターハイに何人出場させるか、藤村唯は、女子期待の一番星。なんとしてでも最低でも入賞しなければならない。

やり投げの石川一美。東北大会本番を前に肘を痛め苦しみながらインターハイを決めた。あの小さな体のどこに力があるのだろうか。私たちは、1年生の時、本当に苦しいことを乗り越えた、それも信頼と

なり大きな力になったとおもう。2年小笠原は、400m優勝でインターハイを決めた。

あの頃は、楽しい気持ちよりも義務感で陸上をしていた。

毎日、毎日眠れなかった。学校に行くこともできない時期もあった。東北大会で昨年のメンバーを4人も残した400MRが準決勝敗退したときに、死にたいと思った。その日から毎日、泥酔するまで飲まなければ自分を保てない毎日。言っていることと考えていることが一致しない。自分に対して嘘ばかりだからますますやりきれない。もう、戻ることはできない。

そんな苦しい中で、藤村もきっと普通の精神状態では無かったと思う。よく頑張りました。その中で3位入賞したときは、嬉しいという気持ちもありましたが、ホッとしたという気持ちの方が強かったかもしれません。

優勝を逃した悔しさと表彰台でも浮かない顔をしていましたが、「よくやった」と声をかけると見る見る笑顔になり、本当に輝いていた姿が印象的です。

00岐阜総体。400MRの3位入賞が思い出です。ついた日に鶴飼いの船にみんなで乗りましたが、ちょっと何だかわかりませんでしたね。毎日、練習帰りにかき氷を食べたこと（先生方とこっそりと）思い出です。

まずは、場所取りから色々な学校と闘いながら一番いい場所を必死で取ってくれました。インターハイの戦いは場所取りから始まると実感した大会になりました。

本気で怒ったこと、も良い思い出。100MHの及川千亜貴。やり投げの小林瞳。。。この年は東北大会でも1点差で総合3位。

01熊本。100m優勝後の400MR準決勝。決勝を逃した悔しさと泣いていたメンバーの顔が思い出せます。麦わら帽子をかぶって40度近い暑さの中での試合でした。

02茨城。100MHの阿部千尋。円盤投げの高橋花枝。400MR。茨城までバスでの移動でしたね。あの時も場所取りで夜中から並んだことを思い出します。

03長崎。突然の豪雨の中での安紗美の400、400MR。そして1600MRの4位入賞。ファイナリストとして立派な戦いをしてくれた。

04島根。島根も信じられない豪雨。入賞まで届かなかったけれど最後に食べた回転寿司は、凄かった。みんなで200皿は食べましたね。

05千葉。東北大会での彩野の骨折からの1600MR。かなり気合いが入っていたのにダメだった400MHなど。。。が心に残っています。

06大阪。絃子の準優勝。なんと言ってもノートかな。本当に素晴らしい集中力でした。

振り返ると10年。毎日夢中で突っ走っている。後ろを振り返りたくない。前だけを見ていたい。埼玉11年連続での出場。続けることは簡単な事じゃない。今以上のレベルアップを常に目指さなければならぬことは自分でわかっている。

簡単に勝つ事なんてできない。考えて考えて考え抜いたときしか勝てないことはわかっている。

私には夢がある。またインターハイで優勝したい。毎年インターハイで優勝させられるような指導者になりたい。

そんな夢を叶えてくれるのは、素晴らしい出会いがあるから、みんなと出逢ったから、みんなの保護者と出会ったから、応援してくれる人と出会ったから。

**これからも、出会いに感謝し、出会いを大切に、そして生徒の無限の力を信じて、走る。**